

	身体的距離(2 m以上目安) が確保できる		身体的距離が確保できない	
	屋内	屋外	屋内	屋外
会話を行う	適切な着用を指導 具体例 1	着用する必要はない 具体例 3	適切な着用を指導 具体例 1	適切な着用を指導 具体例 5
会話をほとんど行わない	着用する必要はない 具体例 2	着用する必要はない	適切な着用を指導 具体例 4	着用する必要はない 具体例 6

【具体例 1】 教室内で行う通常の授業については、身体的距離の確保が困難であり、また、仮に身体的距離を確保できた場合でも、対話を行うため、マスクの適切な着用を指導。

【具体例 2】 個人で行う読書や調べたり考えたりする学習等。（ただし、十分な換気を実施。）

【具体例 3】 離れて行う運動や移動、鬼ごっこ等の密にならない外遊び等。

【具体例 4】 公共交通機関を利用しての登下校等。

【具体例 5】 集団や友人との登下校等。

【具体例 6】 自然観察や写生活動等の教育活動、一人で徒歩、自転車での登下校。

【次の場合は、上記にかかわらずマスクの着用は必要としない】

- 体育の授業や運動部活動は、屋外の運動場に限らず、**マスクの着用は必要ない。**

※十分な身体的距離が取れない状況で、十分な呼吸ができなくなるリスクや熱中症になるリスクがない場合には、適切なマスクの着用を指導。

※運動部活動において接触を伴う活動場面は、各競技団体が作成するガイドライン等を確認。

※活動中以外の練習場所や更衣室等、食事や集団での移動を行う場面は、状況に応じてマスク着用を含めた感染対策を徹底。

- 気温・湿度や暑さ指数（WBGT）が高い日には、熱中症などの健康被害が発生するおそれがあるため、**マスクを外すよう指導。**

※熱中症対策を講じた上で、様々な理由からマスク着用を希望する児童生徒等に対して適切な配慮が必要。

- 2歳以上の小学校就学前の幼児には、**マスクの着用を一律には求めず、無理に着用させない。**